

## 卒業論文講評

小関 隆志

### 國分 俊太郎「高齢者の交通事故の現状と安全なまちづくり」

高齢者の安全に関心の強かった國分さんは、高齢者の交通事故問題に論文のテーマをしぼりました。國分さんの就職先の仕事とも直接関係する、最適のテーマ選択だったと思います。

高齢者の交通事故は、高齢者が被害者になる場合もあれば、逆に高齢者が加害者になることもあり、それぞれ別の対策が必要となります。警察官が路上で取り締まりをするだけでなく、啓発・教育も必要でしょうし、免許更新の方法を変えたり、あるいは事故が起きにくいよう道路を改修したり、運転中に事故を回避するような自動車の技術開発をしたりと、技術的な解決方法も必要でしょう。

國分さんは警察署に加えて、区役所と、高齢者にもインタビューを行い、それぞれの立場から取り組んでいることや望んでいることを聞き取りました。行政機関側だけでなく高齢者の立場も含めて、バランスの取れた考察ができていた点がいへん良かったと思います。

今回、國分さんが調査したのは大都市部（荒川区・北区）で、公共の交通機関が発達している場所でした。したがって、高齢者が移動する場合に自動車ではなく電車・バスを利用することも容易です。他方、公共の交通機関があまりない地方都市や農村部では、高齢者が自動車に依存せざるを得ない（そのため運転をやめられない）状況もあると聞きます。地域によって高齢者の交通事故問題の状況が異なるので、今後もし調査する機会があるとなれば、地方都市や農村部にも注目してみると良いでしょう。